

は し が き

言語センター長 大 島 稔

言語センター広報*Language Studies*の第18号をお届けします。2007年10月1日付けで、言語センター長が個別言語部門英語系の大島稔教授に、副センター長が個別言語部門ドイツ語系副島美由紀教授にかわりすでに2年半が過ぎようとしています。

2006年1月に本学教育開発センターの協力により導入された英語のe-Learningシステムは、授業の中で、あるいは授業外の自習教材としても利用されてきましたが、英語科では、2008年4月から1年生全員を対象にこのe-Learningによる自習授業を実施し、さらに2008年3月から全学生を対象に実施している外部テストのTOEIC IP(Institutional Program団体受験)のスコアを利用して成績評価を行っています。

英語以外の外国語についてもe-Learningシステム構築の必要性は以前から認識されているものの、適当な学習ソフトが少なく、実施に至っていないのが残念です。

e-Learningシステムは、言語学習に必要な自主的の反復練習はもちろん、マルチメディアを利用したコミュニケーション重視の教授法の開発などにおいて重要なツールとなると予想されるので、言語センター全体として、e-Learningを活用した授業の展開と施設・ソフトの充実をめざして行きたいと考えています。2008年度から、教育開発センター経費により、個別言語部門英語系吉田直希教授を代表として「e-Learning英語教材の開発」が行われてきましたが、2010年度から1年生向けに試行の予定です。

マルチメディアLL教室とe-Learningの利便性と有効性が認識される一方で、他のマルチメディア教室(MH1~3)も語学における対面授業、あるいは他学科のマルチメディア授業に利用されるようになり、施設の不足が顕著になっていましたが、2009年度の補正予算でLLを新設する予算が認められ、IDMH1を学生50人用の座席を有するLLとMHとしての機能を持つ20人用のホールを併設した新施設(第2LL)に改修することになり、3月末までに完成の予定です。

公開講座は、4月から7月にかけて、斐嶺教授による中国語会話講座、本学非常勤講師であるアレクサンドル・スペヴァコフスキー氏によるロシア語会話講座、非常勤講師宣憲洋氏による韓国語会話講座が実施されました。英語に関する講座は、新しい試みとして、日本人の先生も含めて5名のオムニバス形式によるExplorations in Language, Culture and Communicationという講座を実施しました。

本学の教員と、高校や中学で教員となっている本学卒業生とでつくる教職研究会の第22回大会が平成21年12月12日(土)にMH3とマルチメディアLLを会場として開催されました。研究発表・実践発表と講演、セミナーに本学卒業の中・高教員を中心に、本学教員、学生なども含めて50数名の参加がありました。

つぎに言語センター所属の教員の海外出張と研修についてご報告します。

個別言語部門フランス語系江口修教授は、「協定大学表敬訪問および国際交流実務についての打ち合わせ」のため平成21年2月27日~3月8日の間、ブルゴス大学(スペイン)、ベルリン経済大学(ドイツ)、ポール・セザンヌ大学、エクス=マルセイユ第三大学(フランス)へ出張されました。

個別言語部門英語系羽村貴史准教授は、科学研究費補助金により「資料収集およびTisha B' Av 視察」のため平成21年7月26日～8月18日の間、University of Massachusetts Amherst大学他へ出張されました。個別言語部門中国語系裴崢教授は、「外国語教授法に関する調査・資料収集」のため、平成21年8月5日～8月26日の間、北京師範大学へ出張されました。個別言語部門英語系ダニエラ・カルヤヌ准教授は、「学会発表」のため、平成21年8月25日～9月30日の間、The Linguistic Society of Finlandに出張されました。個別言語部門中国語系嘉瀬達男准教授は、甘肅省から研究費を受け、「資料収集、研修、交流」のため、平成21年8月30日～10月11日の間、中国・甘肅省蘭州大学へ出張されました。個別言語部門フランス語系江口修教授と個別言語部門中国語系裴崢教授は、「中国・蘭州大学100周年記念式典への出席」のため平成21年9月14日～9月20日の間、蘭州大学へ出張されました。個別言語部門英語系吉田直希教授は、科学研究費補助金により「18世紀英文学研究に関する資料収集」のため、平成21年9月14日～9月21日の間、スタンフォード大学へ出張されました。個別言語部門英語系高井収教授は、「異文化コミュニケーションに関する資料収集」のため、オレゴン州ポートランド州立大学に平成21年9月22日～平成21年9月30日の間、出張されました。個別言語部門フランス語系江口修教授は、「国際学会への出席」のため平成21年9月24日～9月28日の間、高麗大学へ出張されました。個別言語部門ロシア語系の山田久就准教授は、科学研究費補助金により「アパール語、他の諸言語に関する資料収集」のため、ロシア連邦モスクワ市国立図書館他に平成21年12月16日～平成22年1月1日の間、出張されました。同じく、山田久就准教授は、「古代文字、エトルリア人の文字と文化等に関する資料収集」のため、平成22年1月4日～1月11日の間、イタリアの国立博物館等へ出張されました。個別言語部門日本語系高野寿子教授は、「アメリカ言語学会年次総会への出席」のため、平成22年1月6日～1月11日の間、アメリカ合衆国ボルチモアへ出張されました。

その他言語センター教員の移動について報告します。

2009年4月1日より、個別言語部門英語系の吉田直希准教授が、2009年10月1日より、個別言語部門フランス語系の尾形弘人准教授が、それぞれ教授に昇任しました。